

理事長
あいさつ

コロナ禍が続くなか、感染拡大防止の取組みに引き続きご支援、ご協力いただいている利用者、ご家族の皆さま及び職員に改めて感謝するとともにお礼を申し上げます。
今年度は昨年度にも増して厳しい状況下での出発となり、長引く自粛生活に気の塞ぐこともあったかと思いますが、一方でワクチン接種の開始など明るい兆しも見えはじめています。コロナ禍が明けるまで今暫く皆様
の健康と安全のためご辛抱をお願い申し上げます。

理事長 飯田 哲司

大阪府障害者福祉事業団機関紙

かなび

【法人理念】ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現

コロナに打ち勝つ!!

2021年(令和3年)
7月1日発行

vol.171

イベント情報

茨木市

茨木市立障害福祉センターハートフル「市民交流講座」



イベント名 手作り講座

イベント名 アフリカン音楽会

日程 9月11日(土)13:30~15:00
「きつねのお面の絵付け講座」

日程 7月31日(土)13:30~14:30
10月30日(土)13:30~14:00

11月27日(土)13:30~15:00
「干支張り子絵付け講座 寅」

場所 ハートフル4階大会議室
(大阪府茨木市片桐町4番26号)

場所 ハートフル3階交流室
(大阪府茨木市片桐町4番26号)



問い合わせ 072-620-9818 担当 山本まで

採用情報

採用HP/SNS

採用HP 職員募集の案内のほか、オンライン説明会・サロン等の採用に関する情報はコチラ!

<https://www.sfj-osaka.net/saiyou/>



twitter採用アカウント



@sfj_recruit

LINE公式アカウント



@565nximz

採用SNS 採用に関する情報をリアルタイムで発信!ご登録をお願いします。

編集後記

「新しい生活様式」への切り替えを求められ、少なからず変化したプライベートの過ごし方や働き方にもずいぶん馴染んできたように思います。これまでの生活を見直すきっかけになったという人も多いのではないのでしょうか。

人の行き来や対面での交流が制限されるなか、オンライン化の流れも加速して様々なサービスや商品が生まれ、コミュニケーションのあり方も変わってきました。コミュニケーション手段が拡大し、機能的・効率的になった一方で、必要以上の「ちょっとした」コミュニケーションのきっかけが生まれづらくなったようにも思います。

この機関紙「かなび」がそんな一つのきっかけになれば幸甚の至りです。

ここから読む

木村 良一さん(仮名)だ!

良一さんと出会ったのは、もう二十何年前のこと

私が大阪府障害者福祉事業団に入職して、最初に配属されたのが障がい児入所施設

当時、良一さんは小学校2年生だった。

いたずらっ子で手を焼くことも多かったけど、愛嬌たっぷりの笑顔と躍りに癒されたものだ。

私は、その後人事異動で施設を離れたけれど、良一さんは学校を卒業すると事業団が運営する障害者支援施設に入所された。

しばらくは施設の敷地内で姿を見かけ、その度に

良一さん!

オウ! と変わらぬ笑顔を見せてくれた。

背中を丸めて歩く姿が特徴的で、遠くから見てもすぐに良一さんと分かった。

そんな良一さんの姿を見かけなくなった。

お菓子やジュースが大好きだから、地域のスーパーで好きなものを買って食べて地域生活を満喫しているのだろうか

事業団が入所施設からの地域移行を推進するために立ち上げたグループホームに入居されたいらしい。

今日は、良一さんが退所された入所施設の年1回のお祭り行事だ。

私も今は直接支援の現場から離れているけど、このお祭りは毎年参加している。

退所された懐かしい面々にも会えるから嬉しい。

その中に良一さんがいた。

良一さん!

オウ!

少しポッチャリしたけど、あの笑顔は変わらない。

十年ぶりぐらいだけど、背中を丸めて歩く姿ですぐに良一さんと分かった。

良一さん!

おじいさんになっても大丈夫だよー!

幼児期、学齢期から青壮年期、高齢期に至るまで、ライフステージに応じた医療・福祉サービスを提供する資源が大阪府障害者福祉事業団にはある。

人生のあらゆる場面に寄り添い、一人ひとりのニーズに応じたサービスを提供して利用者に安心して人生を歩んでもらいたい。



社会福祉法人

大阪府障害者福祉事業団

SFJ事業団 〒584-0054 大阪府富田林市大字甘南備216番地

【法人事務局】

TEL 0721-34-2180

FAX 0721-34-2121

ホームページアドレス

<https://www.sfj-osaka.net>



ようこそ、大阪府障害者福祉事業団へ！



晴れ渡る令和3年4月1日の朝、満開の桜の下、この日新たに大阪府障害者福祉事業団に入職した39名の正規職員の顔ぶれが一堂に会しました。うち23名が新卒での採用であり、中には2000年生まれの二十歳の姿も。

入職式と続けて2日間にわたって行われた新任職員研修は、新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底するため、採用エリアごとに部屋を分け、予防対策のためフェイスシールドを配布したうえでリモートにより実施しました。感染予防の観点から辞令交付式は行いませんでしたが、スクリーンを通して理事長を始め、法人幹部や大阪府内全18事業所の所属長一人ひとりが歓迎の言葉を贈るなど、リモートならではの工夫で新たな仲間を歓迎しました。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での就職フェアが中止となり、施設見学の実施も制限されるなど例年とは大きく異なる採用活動を迫られた反面、当法人としては新たな取組みに挑戦し、前年度比で約2倍の新卒職員を採用するなど確かな手ごたえを実感できた1年でもありました。

法人の令和3年度運営方針においても、人材の確保、定着、育成の機能強化を重点的な取組みとして掲げています。「事業団で働きたい」「事業団で働き続けたい」と思っていただけのような魅力ある法人運営を目指して邁進してまいります。

全国からつながる法人へ！

～オンライン化の推進～

オンライン化の推進

法人説明会やエントリーシートの提出、適性検査、採用担当者による一次面接—これら最終面接を除くすべての採用プロセスをオンライン化しました。また、採用ホームページの創設やTwitter等のSNS活用なども行い、効率的かつ効果的に求人情報を発信することで、日本全国どこからでもアクセスが可能な法人になりました。

遠方にお住いの方を中心に、導入開始から2年目となる借上げ社宅も好評です。



もっと身近に！

～内定者や学校機関等との関係づくり～

法人へのエンゲージメント向上や、入職してからのギャップ低減を目的として、面談等の内定者フォローを実施しています。就職活動中の学生や内定者が集い採用担当者とざっくばらんに語るオンラインサロンでは、就職活動に関する悩み事や素朴な疑問に答えるほか、支援現場の職員を交えた座談会などの企画も行っています。

また、令和2年度は、オンラインとオフラインを併用し、大学等計70校の教職員の皆さまと通算100回を超える面談をさせていただきました。今年度採用の新卒職員については、入職後に随時インタビュー動画を撮影し、元気に笑顔で働く姿を卒業校にお届けしています。

SFJ入団！



東京オリンピックの話題がニュースなどでも大きく取り上げられる中、アスリートのセカンドキャリアを支援する「日本営業大学(一般社団法人 S.E.A)」の卒業生が、このたび大阪府障害者福祉事業団の一員に加わりました。

日本営業大学は、アスリートの持つ貴重な能力にビジネススキルや人間力を授ける「教育」と、アスリートビジネスパーソンを活用し、中核人材へと育成する志のある企業とを繋ぐ「採用」で、アスリートのセカンドキャリアを支援し、アスリートと企業双方の課題を解決するためのコミュニティです。

当法人では、令和2年5月の開校当初から日本営業大学様の会員企業として、卒業生のビジネスマッチングや就職マッチングに参加し、出会いの機会や刺激をいただきながら野球やサッカー、スケートなどの厳しい競技人生を送ってこられたアスリートの新たな船出を応援してまいりました。それがこうして実を結び、今後よりバラエティ豊かで多様性のある、にぎやかな法人になっていく予感に期待が膨らむ思いです。

できることをもって。こども発達支援課、始めました。



当法人では、箕面市、茨木市、富田林市、大阪狭山市、河内長野市から委託を受け、発達障がい児等の療育事業を実施しています。各事業所は、小規模ながらも高い専門性が求められるため、これまで人材の確保・育成や安定的な運営に課題がありました。そこで課題の解消を図るため再編し、一元的に管理運営することを目的として、令和3年4月に誕生したのが「こども発達支援課」です。

富田林市内にある府立障がい児入所施設とも連携し、児童福祉や療育支援に関わる事業を一体的に運営することで、スキルやノウハウを共有し、職員の専門性を向上するとともに、安定的かつ効率的な運営を行うことで、これまで以上にこどもの発達を支援する機能の強化を図ります。

各事業所が離れているうえに、新型コロナウイルス感染症への対応から移動や交流が制限される状況下でのスタートとはなりませんが、オンラインツールなども積極的に利用しながら、「いま、できることを考え、「これから」を見据えた組織づくり、支援を行ってまいります。

令和2年度決算報告

令和2年度の減価償却後の当期資金収支差額合計(経常活動分)は約2億6千9百万円となりました。

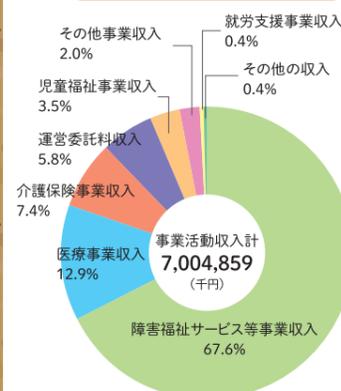
新型コロナウイルス感染症の収支への影響を心配していましたが、大きく悪化することなく決算を迎えることができました。

収支差額を財源として、通常の夏季一時金に加算して職員に支給しました。

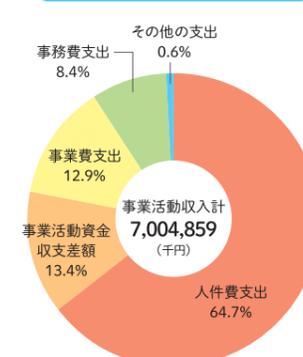
平成29年度に自立民営化し、経営結果を職員に還元することができるようになってから3年がたちます。

職員の待遇改善によるモチベーションの向上がサービスの質の向上へとつながり、利用者満足度の向上、さらなる経営基盤の安定化へと連なる正のスパイラルを絶やさず持続していけるよう、今後ますます経営基盤の安定化を推進してまいります。

事業活動収入の内訳



事業活動収入に占める事業活動支出の内訳



【令和2年度 資金収支計算書】

(単位:千円)

勘定科目	法人合計	/ (A)
障害福祉サービス等事業収入	4,733,689	67.6
医療事業収入	907,237	12.9
介護保険事業収入	516,100	7.4
運営委託料収入	408,241	5.8
児童福祉事業収入	247,960	3.5
その他事業収入	138,680	2.0
就労支援事業収入	25,284	0.4
その他の収入	27,668	0.4
事業活動収入計(A)	7,004,859	100.0
人件費支出	4,528,811	64.7
事業費支出	904,711	12.9
事務費支出	586,720	8.4
その他の支出	48,585	0.6
事業活動支出計(B)	6,068,827	86.6
①事業活動資金収支差額(A)-(B)	936,032	13.4
施設整備等収入計	12,652	
施設整備等支出計	400,810	
②施設整備等資金収支差額	△388,158	
その他の活動収入計	263,403	
その他の活動支出計	1,211,671	
うち夏季一時金の財源として	(127,700)	※1
うち⑤支払資金残高からの積立として	(542,125)	※2
③その他の活動資金収支差額	△948,268	
④当期資金収支差額合計	△400,394	①+②+③
夏季一時金への拠出	127,700	※1の再掲
積立資産への拠出	542,125	※2の再掲
当期資金収支差額合計(経常活動分)	269,431	④+※1+※2
⑤前期末支払資金残高	2,169,670	
⑥当期末支払資金残高	1,769,276	④+⑤